

## 国策パンフレット『週報』の英語版『東京ガゼット』について

対外宣伝、プロパガンダ、日中戦争、情報委員会、日本外事協会

土屋 礼子

本稿は、戦時期の日本政府の情報機構（内閣情報委員会－情報部－情報局）の監督下で発行された国策パンフレット『週報』の英語版である『東京ガゼット（The Tokyo Gazette）』について、その概要を公文書をはじめとする文献とその紙面の内容から明らかにするものである。

この月刊パンフレットは、日本外事協会という外務省情報部と陸海軍が補助金を出して1931年に創設された団体から、日中戦争が始まった1937年7月に創刊された。内容は、『週報』の日本語記事から翻訳したものが約七割を占めるが、『週報』に多く見られる国内向けの運動や宣伝に関する記事はなく、『週報』にはみられない、海外向けの記事が掲載されており、日中戦争における日本の立場を説明しようとする対外宣伝メディアであった。その編集には、福田市平と笈光顕という当時最も優れた翻訳者が起用されていたが、太平洋戦争が始まるとまもなく1942年3月刊行の57号を最後に『東京ガゼット』は廃刊された。